

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 国道・技術課
担当課長名:高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道55号 奈半利安芸道路(奈半利～安田)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自:高知県安芸郡奈半利町字芝崎 至:高知県安芸郡安田町東島	延長	4.0km		
事業概要	奈半利安芸道路(奈半利～安田)は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で、高知県安芸郡奈半利町字芝崎から高知県安芸郡安田町東島に至る延長4.0kmの自動車専用道路である(阿南安芸自動車道は徳島県阿南市から高知県安芸市に至る高規格道路)。				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、物流拠点や空港、高次救急医療機関等へのアクセス向上により、高知県東部地域における産業振興や観光振興、緊急搬送など医療活動を支援するものである。				
全体事業費	約260億円	計画交通量	約8,000台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用 便益 分析	B/C	EIRR	総費用	12,927億円	総便益	14,159億円	基準年	
	1.1(0.8)	4.4%	事業費: 12,106億円 維持管理費: 582億円 更新費: 238億円		走行時間短縮便益: 12,289億円 走行経費減少便益: 1,481億円 交通事故減少便益: 388億円		令和5年	
	(参考) 1.5(1.1) [2%] 1.9(1.4) [1%]	(2.6%)	感度分析	交通量変動	B/C=1.02~1.2 (変動ケース:±10%)			
事業の 影響	者への 影響	自動車や歩行	渋滞対策	—	注目すべき影響はない。			
		事故対策	—	注目すべき影響はない。				
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。				
	社会 全体への 影響	住民生活	◎	【速達性・アクセス性の向上により医療活動を支援】 ・高知県東部地域から第三次救急医療機関までの搬送時間が短縮され、地域で生活が営める環境を維持。 [室戸市市境～高知医療センターの所要時間] 現況 93分 ⇒ 整備後 51分(約42分短縮) [高知県東部地域(安田町以東)の第三次救急医療機関の60分圏域人口カバー率] 現況 0人(0%) ⇒ 整備後 約10,500人(44%) [室戸市消防本部管内の第三次救急医療機関の60分圏域人口カバー率] 現況 0人(0%) ⇒ 整備後 約1,700人(12%)				
		地域経済	◎	【産業振興や観光振興に寄与】 ・幅員狭小区間が存在する国道493号に代わり、当該路線が円滑な物流網を構築。 [奈半利～安田間を移動する経路における幅員狭小区間] 現況 1区間(国道493号経由)⇒整備後 0区間(奈半利安芸道路(奈半利～安田)経由) ・高知龍馬空港からのアクセスを強化し、高知県東部地域の魅力を向上。 [高知龍馬空港から安田町以東(北川村役場)間の所要時間] 現況 80分 ⇒ 整備後 38分(約42分短縮)				
		災害	◎	【信頼性の高いネットワークの確保】 ・浸水しない信頼性の高いネットワークの構築により、持続可能な地域生活圏を維持。 [奈半利～安田間を移動する経路における津波浸水区間の延長] 現況 約3.7km(国道55、493号経由)⇒整備後 0km(奈半利安芸道路(奈半利～安田)経由)				
		環境	—	注目すべき影響はない。				
地域社会	—	注目すべき影響はない。						
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了(H31.2.28) ・高知県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望						

関係する地方公共団体等の意見

【高知県知事】
一般国道55号 奈半利安芸道路(奈半利～安田)事業の予算化に同意します。
四国地方の高速道路網の骨格を成す「四国8の字ネットワーク」の一部を構成する四国横断自動車道と阿南安芸自動車道は、平常時には、本県西部及び東部地域の経済活性化を支える重要な社会資本として、災害時には、円滑な救援活動等を確保する「命の道」として重要な役割を担うことから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。今回の能登半島地震で、土砂崩れ等に伴う道路の寸断により、救助活動や物流輸送に多大な影響を及ぼしたことは、南海トラフ地震においても共通する課題であり、「緊急輸送道路」の根幹を成す四国8の字ネットワークの整備を急ぐ必要があります。この区間が事業化され整備が進めば、南海トラフ地震等の大規模災害発生時における「命の道」として、また、四国内や関西圏などの連携強化が図られ、商圏や交流人口がさらに拡大し、本県のみならず、四国全体の経済活性化に大きく寄与するものと期待しております。本県といたしましては、本年度より新設した高規格道路用地室による用地買収への協力や埋蔵文化財発掘調査の早期完了、高規格道路全般の調整に関わる専属職員の配置、建設発生土の有効利用に係る調整など、事業が円滑に推進できる環境を早期に整えられるよう、沿線自治体や関係機関とも連携し最大限努力するとともに、スピード感を持って取り組んでまいります。奈半利安芸道路(奈半利～安田)につきましては、本線と地域の観光や産業、防災の拠点をつなぐ県管理道路の整備を行うことで、観光振興や産業振興の支援、防災機能の強化につなげてまいります。今後も、高規格道路の事業化を見据えた地域の防災や産業・観光振興の取り組みを後押しし、地域防災力の向上や地域経済の活性化につなげてまいりますので、奈半利安芸道路(奈半利～安田)を令和6年度の新規事業箇所として着手していただきますようお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- ・費用対便益 : 便益が費用を上回っている。
- ・手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了(平成31年2月28日)

採択の理由

費用便益が一体評価で1.1と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。
また、奈半利安芸道路(奈半利～安田)の整備により信頼性の高いネットワークを確保し、高知県東部地域の産業振興や観光振興を支援するとともに医療活動を支援するなど必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものである。
※B/Cの上段は徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([] 内は社会的割引率の値)

新規事業採択時評価結果（令和6年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成。物流拠点や空港からのアクセスが向上することで、高知県東部地域における産業振興や観光振興を支援するとともに高次救急医療機関への速達性・アクセス性の向上により、緊急搬送など医療活動を支援するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震は今後30年以内の発生確率が70～80%、広範囲で甚大な被害が想定される。並行する国道55、493号は約8割が浸水。また、国道493号には幅員狭小区間が存在。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※四国地域新広域道路交通計画（R3.6） ・規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築、規格の高い道路のミッシングリンクの解消を進めて多重性・代替性を確保する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 高知県東部地域（安田町以東）には高度救急医療などを行える高次救急医療機関がなく、高知市の施設に依存せざるを得ない状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）のあるエリアへ誘導する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 全国1位の収穫量を誇る高知県産のゆずは、高知市に位置する園芸流通センターで一元集荷・出荷。ゆずで有名な馬路村や北川村など高知県東部地域からの出荷は全国の約2割を占めるが、幅員狭小による離合困難箇所により、円滑な出荷を阻害。 高知東部自動車道沿線地域の観光入込客数は増加傾向であるが、高知県東部地域（安田町以東）への観光では、高知龍馬空港・高知新港からの移動に時間を要するため、観光入込客数は伸び悩み。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県に跨がって、テーマ性等を持った一連の魅力あふれる観光地をネットワーク化。 ・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要な不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※第4期高知県産業振興計画 ver.4（R5.3） ・安芸地域のユズを中心とした中山間振興
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、防災機能ランクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消及び累積脆弱度の改善によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	高知県庁	安田町	60 (14)	0.93 [C] 〔0.93〕 [C]	0.84 [C] 〔0.88〕 [C]	881.26 (17.34)	0.18 (0.12)	0.13 (0.07)	○ (○)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（平成31年2月28日）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。